

水防訓練で体制強化

豪雨備え土のう100袋作製 千建協鴨川支部

県建設業協会鴨川支部(中野高明支部長)は、鴨川市横濱の鴨川建設会館駐車場で、2023年度水防訓練を実施した。多発する台風や集中豪雨など備え、発注者用(砕石土)の500袋、砂土の500袋の計1000袋を作製するとともに防災体制を強化した。参加した支部員18社に加え、平川副市長、石渡康安房土木事務所鴨川出張所所長、県土木職員、市職員らが地域住民の安全安心の確保に向け汗を流した。



地域の守り手・地域貢献として活動する支部の参加メンバー



作業・訓練では、支部員をA班、B班の2班に分け、それぞれ土のう作りを実施した。持参したスコップと手袋を使用し、協会の緑色の安全チョッキ、マスクを着用して、土のうの大きさを揃えながらトラックに手際よく積み上げ、地域の守り手となる。中野支部長は、先週末の台風による大雨を振り返りながら「自然災害が激化、頻発している。地域貢献活動を通して、建設者としての自負、気概をお互いに刺激しあう場としてほしい」と相互連携の大切さを強調。関係大震災から100年目を迎えることから「いつ大災害が起こるか分からない。行政と連携して応急処置に当たり、市民の安全を確保する」と話した。平川副市長は、日頃からの建設行政、災害対応に対する協力を感謝を示した。石渡所長は、支部員を「地域の守り手」として活動してほしいと激励した。

松本分会長は、建設業労働災害防止協会(建設防)県支部から「安全週間説明会」を開催し、安全意識の高揚と安全活動の定着を図った。松本分会長は「安全週間説明会」を開催し、安全意識の高揚と安全活動の定着を図った。松本分会長は「安全週間説明会」を開催し、安全意識の高揚と安全活動の定着を図った。

事業主の意識高揚 安全週間説明会開く。建設業労働災害防止協会(建設防)県支部から「安全週間説明会」を開催し、安全意識の高揚と安全活動の定着を図った。

初級者28人に講演 ちば測協の研修会。ちば測量設計協会(ちば測協)は、7日、初級者(新入社員)を対象とした研修会を開催した。研修会では、測量の基礎知識、測量の現場での実践的な事例などを、古里会長が講演した。

物価高騰に補正対策。山武市は、物価高騰による生活コストの増加に対応するため、補正予算案を提出した。補正予算案には、電気・ガス・水道料金の補助などが含まれている。

市町村議会 定例会開催。山武市議会定例会は、6月8日開会し、一般質問や議案の採決が行われた。

公園整備事業を推進 道路やスポーツ施設も。佐倉市は、市民生活の向上を図るため、公園整備事業を推進している。道路やスポーツ施設の整備も進められている。

CPD認定研修に26人。習志野市インフラ協会は、CPD認定研修を開催し、26人が参加した。研修では、インフラ事業の最新動向やスキルアップの重要性について学んだ。

個々のスキル強化。インフラ協会は、メンバーのスキルアップを促進するため、様々な研修や勉強会を開催している。

6月18日まで開催。杜の中心に体験型などのイベントを開催し、市民の憩いの場を提供している。

全国都市緑化フェア「未来の杜せんだい」



見どころ①はなばた飾り



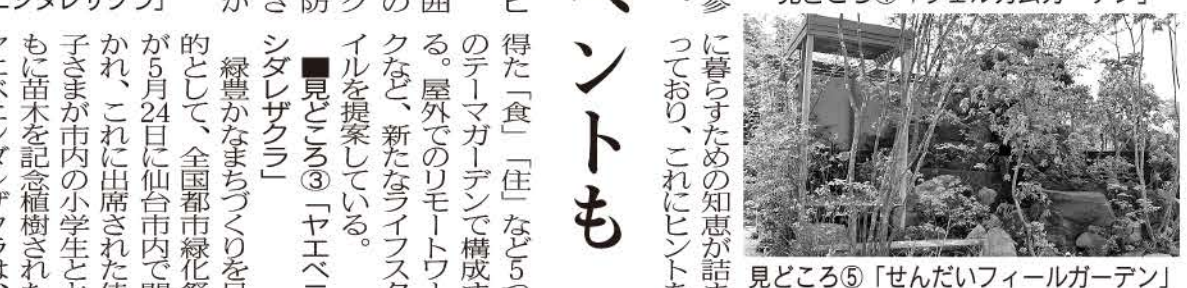
見どころ②「杜のリビングガーデン」



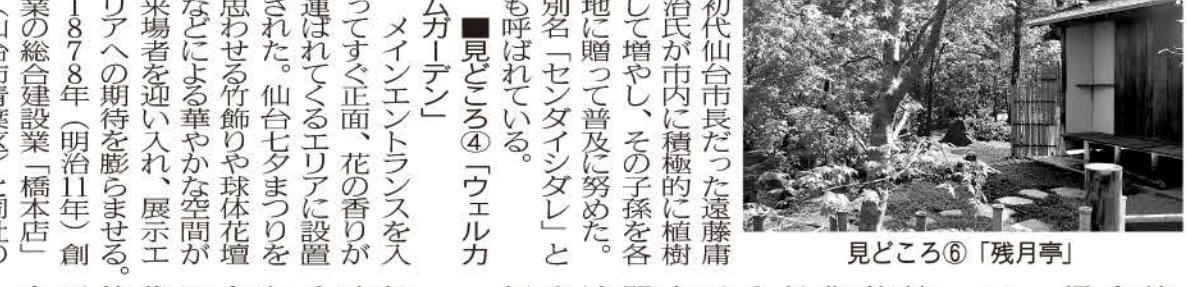
見どころ③「ヤエベニシタレサクラ」



見どころ④「ウェルカムガーデン」



見どころ⑤「せんだいフィールガーデン」



見どころ⑥「残月亭」

杜の中心に体験型などのイベントを開催し、市民の憩いの場を提供している。また、環境教育や防災訓練などの取り組みも進められている。

休日に各種イベントも。杜の中心に体験型などのイベントを開催し、市民の憩いの場を提供している。

公園整備事業を推進。佐倉市は、市民生活の向上を図るため、公園整備事業を推進している。

CPD認定研修に26人。習志野市インフラ協会は、CPD認定研修を開催し、26人が参加した。

個々のスキル強化。インフラ協会は、メンバーのスキルアップを促進するため、様々な研修や勉強会を開催している。

6月18日まで開催。杜の中心に体験型などのイベントを開催し、市民の憩いの場を提供している。